

# 椎 の 実

No. 108

2017・8・31

〒500-8309 岐阜市都通2-2  
岐阜市民福祉活動センター1F  
(一社)岐阜県手をつなぐ育成会  
電話 (058) 253-8062  
FAX (058) 254-9210  
メールアドレス  
ikuseig@alpha.ocn.ne.jp

## 第59回岐阜県手をつなぐ育成会総会

平成29年6月25日 日本まん真ん中センター (郡上市)



### 第59回県総会を終えて

大会実行委員長 太田 直美

今年度の総会の中濃地区で開催されました。各地の皆様をお迎えすることができるよう地区の実行委員が一丸となり、準備に取り組むことにより無事に総会を終える事ができました。お越し下さった方々には勿論ですが、1年間ご指導いただき、支えていただいた実行委員会と事務局の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。この役を終えて、1人ではできない事がみんなの力を借りれば実現できることを改めて思いました。障がいを持ったわが子達も同じように家族、地域、社会の支援を受けて各々の生涯を充実して過ごせますようにと感じました。



ホームページにも県総会の様子が載っています。ぜひ見てみてください！

## 新理事長 かすみ てつお 春見鉄男さんに 聞く!



### はじめに 育成会との出会いについて

40年前、施設の兄弟会に参加、ボランティア活動をする中兄弟の悩みやうれしかったことなどを共有し育成会の存在を知った。

### 兄が教えてくれた障害のこと

小学校へ入学したころ、兄は施設に入所していて、帰省でうちに来た時は気恥ずかしかった。当時はなぜ兄に障害があるのか理解できなかった。

6年生の時、初めて友達に「兄に障害があること」を話した。それを作文にしたらコンクールに入選しとてもうれしかった。

10年前、みどり荘育成会の会長に就任した時、尊敬していた女性の施設長さんから「あなたも大学に行って福祉のことを勉強してきたら」と勧められ、応援もしていただき、大学で勉強できたことがうれしかった。妻や娘の後押しや協力にも感謝している。

### 兄が導いてくれた福祉の道

通信制の大学の時、担当教授が兄の施設の元園長で兄をよく覚えてみえて障害のイロハを教えてもらい、障害福祉の道に進もうと決意した。障害のある兄がこの道に導いてくれたことに感謝している。

### 障害者と社会とのかかわり

母がいつの間にか高齢になり認知症の予兆もあり、母に替わり兄を支援していくことになった。そこで兄の後見人になり、成年後見制度を学んだ。これを契機にこの制度を広めていくことが私の使命だと決意した。

岐阜市社協に入社し、7年間権利擁護事業に携わることになり、障害者本人や家族の困りごとや悩みの相談にのるなどやりがいのある仕事ができる。また多くの関係者や施設とのつながりもできた。

### 育成会の今の課題と皆さんへのメッセージ

今、障害のある人や家族が困っていないかという、地域での孤立、なくならない虐待や差別、医療的ケアの必要性、家族全体が抱える困難さ、親亡き後の不安などたくさんあります。育成会は情報化の普及で役割が終わったのではなく、若い人たちのニーズに追いついていないだけです。活動を活性化させ、会員減少に歯止めをかけるには、子育て世代や青年期の本人を支える世代がもっと活躍できる組織にしていく必要があります。

現在、育成会で中心的な役割を担ってきた人たちは、年配の人が多く地域の福祉を作ってきた自負をお持ちです。そのチカラで若い世代にバトンタッチし、最初はどううまくなくても、皆さんの力で助けてください。かつての世代がそうしたように、若い人のニーズは自分たちで解決していくしかありません。子どものことや生活のことで余裕がなくても一緒に声を上げ、行動できる仲間を見つけてください。



はじめまして 浦田信雄 です。

この4月より県育成会の事務局長としてお世話になっております。なにぶん初めてのことで、いろいろご指導いただくことばかりですが、どうぞよろしくお願いたします。

# 平成 29 年度事業計画

新たな法律や福祉サービスの理解を深め、「誰もが安心して暮らせる共生社会」の実現にむけて、地域社会や行政、全国育成会連合会等との連携・協力を図り、権利擁護活動を推進する。

## 具体的な推進

- (1) 各種研修会の開催や大会の参加により、新たな法律による障害者福祉制度の理解
  - ・ 県育成会自主研修会を開催して新たな法律の理解を深める。
  - ・ 各種団体の研修会・講習会に参加し、新たな法律の理解を深める。
  - ・ 各種大会に参加し、新しい情報を得て研修する。
- (2) 権利擁護・啓発活動の推進
  - ・ 各地区における「虐待」「差別」などの実態把握に努め、行政やサービス提供事業所、学校などとの話し合いを進め、権利擁護活動を推進する。
  - ・ 保護者向けの情報の発信(ホームページの充実、勉強会、研修会の開催)
  - ・ 全国手をつなぐ育成会連合会の機関誌『手をつなぐ』の購読拡大を図る。
  - ・ 会報『椎の実』を年3回発行し、会員並びに関係諸機関に配布し啓発を図る。
  - ・ 『心の友運動』の推進に努める。
  - ・ 全国手をつなぐ育成会連合会企画の各種ワークショップを開催する。
  - ・ 全国手をつなぐ育成会連合会の情報把握に努め共有化を図る。
  - ・ 知的障がい啓発冊子を使った講演や、キャラバン活動を通じて地域理解を深める
  - ・ Eメール、インターネットの利用を進める。
- (3) 障害者の明るいくらし事業『障がい者 110 番』の充実と活用
  - 内容に応じて弁護士、医療専門員とも相談。
  - 県内で研修会及び出張相談会を開催する。
- (4) 各種スポーツ大会に積極的に参加及び開催協力

## 一般社団法人 岐阜県手をつなぐ育成会

### 役員・理事・事務局名簿

地区名	氏 名	地区名	氏 名	地区名	氏 名
顧 問	武藤 容 治	西濃地区	折戸 辰彦	飛驒地区	○ 帆ノ下 久美子
	野田 聖 子		室 眞 理		今 井 讓 治
	柴田 勇 夫		國 井 英 明		坂垣内 孝 幸
岐阜地区	◎ 春見 鉄 男	中濃地区	○ 田 中 眞 澄		松 井 新 吉
	○ 大谷 弘		包 子 芙 美 江		中 島 齋
	樋 渡 一 輝		堅 田 由 美 子		施設部会
	篠 田 堅 次		太 田 直 美	監 事	奥 田 靖 彦
	岩 田 彩 子	村 瀬 正 樹	牧 村 光 子		
	永 田 ル ミ	東濃地区	○ 奥 山 完 治	事務局長	浦 田 信 雄
	金 森 依 子		田 伏 純 夫	障害者110番	春 見 鉄 男
白 田 美 穂	鶉 飼 厚 志		宮 川 多 津 代		
西濃地区	○ 近 藤 則 朗		山 内 浩 康		服 部 直 美
	寸 田 さ つ き	大 橋 実			

◎理事長 ○副理事長



あなたといっしょに問題解決の方法を考えます

# 障がい者 110 番

障がいのあるご本人、家族、支援者のための **相談窓口** です

岐阜県手をつなぐ育成会には、県の委託事業「障がい者 110 番」という相談窓口があります。電話、ファックス、メールで相談を受けたり、実際にお会いして相談を受けたりしています。

### たとえば、こんな相談①

(知的障がい 女性 本人から相談)

B型事業所へ通った後、企業に就職しました。上司から注意を受けたりすると、自分のためだとはわかっていても落ち込みます。職場の中では孤立していて、相談できる人もいません。

### たとえば、こんな相談②

(知的障がい 女性 母親から相談)

小学校の普通学級に通っていますが、先生から特別支援学級を勧められました。今のクラスにはお友達もいて、仲良くできているので変わりたくありません。子どものためにどちらが良いのかわからなくなり、悩んでいます。

すぐには答えの出ないこんな悩みも、話をするうちに気持ちの整理がついたり、良い方法が思いついたりするものです。ひとりで考えていても、考えは同じところをめぐることが多いと思いませんか？誰かと話をすることで道が開けることがあります。

### たとえば、こんな方法①

企業への就職、頑張ったんですね。うまくできないことがあるのも、注意を受けると落ち込むのも自然なことですよ。就職するときにお世話になった就業・生活支援センターの職員さんやB型事業所の職員さんに相談されてはどうでしょうか。障がい者110番にもいつでも電話してください。

### たとえば、こんな方法②

慣れた環境から変わるのには勇気のいることだと思います。先生が特別支援学級を勧められるのはお子さんにとってそのほうが良いと判断されたからだと思いますよ。今のクラスのお友達とは親学級という形でかわっていくことができると思いますよ。

気軽にお電話、ファックス、メールをください

TEL・FAX 058-253-1881

不在時は留守電で対応します

E-mail sho.hyaku.1611@gmail.com

相談は無料です

必要と思われるケースは、弁護士、精神科医へつなぎます

# 障がい者110番では

## 1年に数回、県内各地で研修会を開催しています

今年度1回目の研修会は、平成29年7月11日 高山市民文化会館にて、「知ってほしい、知っておきたい 障がい者と警察・司法」というテーマで行いました。講師は弁護士の浅川剛志氏と小幡麻衣氏でした。



県育成会副理事長 帆ノ下久美子

今回は数年ぶりに飛騨地区での開催となりました。

事前申し込み者に加え予想を上回る当日参加があり、資料が足りない状況の中での学習会となり一部の方にはご迷惑をおかけしましたが、育成会の会員の他、障害福祉サービス提供事業所、相談支援事業所等の支援者、そして知的障害以外の当事者団体からの参加もあり、今回のテーマに対して関心のある方が多い事の再確認をする研修会となりました。

事件が起き、起訴されるまでの期間、取り調べはどのように行なわれるのか、量刑はどのように決まるのか等のお話や、もしも自分達の子供が事件にかかわってしまったとしたら、取り調べの際に障害の特性を理解したうえで聴き取りはなされるのかなど、皆さん真剣に弁護士さんの講演に耳を傾けていました。

体感治安が悪くなっている今日、障がいのある方が事件に巻き込まれるケースが増えていきます。飛騨地区には弁護士事務所が限られていますが、全国的に「法テラス」という弁護士さんのネットワークがあるという事、国選弁護士の派遣制度が充実の兆しがある事などを伺い、今後育成会としても見守り新しい情報があれば発信していきたいと考えています。

参加され方からは、もっと具体的な事例や障害に特化した内容を知りたいというご意見もあり、次回はさらに深めた学習会の検討をしたいと思います。

昨年は岐阜県警と岐阜県手をつなぐ育成会との学習会・意見交換会が行われましたが、今後、各地域の育成会が地元の警察へ出向き、障がいのある方への理解を深めて頂く活動の必要性も感じた研修会となりました。

### 研修会 次回の予告

テ — マ 「共生社会～今あらためて私たちにできること～」  
 講 師 河合良房氏（障がい者110番顧問弁護士）  
 シンポジスト 春見鉄男氏、臼井潤一郎氏、竹内真人氏、  
 高橋将也氏、加藤佑美氏  
 日 時 平成29年11月2日（木） 13:30～16:00  
 場 所 総合福祉会館「すこやかタウン美濃加茂」  
 ふれあいホール（美濃加茂市新池町3-4-1）

※午前は河合弁護士による個別面接相談会を行います

平成30年1月18日（木）午後  
 障がい者110番医療相談員の  
 井川典克氏の講演を予定しています。  
 開催地は岐阜地区の予定。  
 詳細が決まり次第お知らせします。

参加申し込み・お問い合わせは  
**岐阜県手をつなぐ育成会**

TEL 058-253-8062  
 E-mail ikuseig@alpha.ocn.ne.jp

# 新・福祉友愛プールに行ってきました

県育成会副理事長 大谷 弘

## ● 障害のある人が使いやすいプール

### ① 家族更衣室

お母さんたちの悩みは成人男性の介助です。ほかの利用者に気兼ねすることなく使えます。

### ② プールサイドは転んでもケガをしにくい素材です

万一、急に走り出したり、滑ったり、転んだりしても安全です。

### ③ 暑さ寒さを感じない温度管理

一年中、水温、室温とも快適です。特にジェットバスはおすすめ。まるでスーパー銭湯のようです。

### ④ 周りに気兼ねすることなく利用できる無料のサロン

テーブルで食事可能です。キッズスペースもあります。

## ● 障害のある人のための心優しいプール

パラリンピックも近いことから、障害者スポーツが注目されています。しかし、知的障害者の多くは競技より楽しむことが中心です。今回、友愛プールの新築で、このことが忘れられてしまわないか気がかりでした。施設を見学して、重い障害があっても、とても利用しやすいことがわかりました。

### 所長さんにこんな質問をしました

高齢者の利用も可能ですが、中には障害者を迷惑だという人もいるかもしれませんか？



高齢の方はほかに利用できる施設があります。障害のある人のプールはここしかありません。ここは障害のある人のためにできた施設です



と、障害者の立場に立って答えてくれました。

### 多動で目の離せない障害児のお母さんの話

キャップをかぶらず、奇声を発して走り回る息子でも温かく見守ってくれました



と、嬉しそうに話してくれました。

はじめて利用した人たちからまた行きたいとの声が届いています。これからも、障害のある人のための心優しいプールであり続けてください。

### 福祉友愛プール

利用できる方	障がい者、その介助者、60歳以上の方、障がい者団体		
開館時間	午前9時～午後9時（5月～9月） 午前10時～午後9時（10月～4月）		
休館日	火曜日、祝日の翌日、年末年始		
利用料	障がい者（一般）200円	障がい者（高校生以下）100円	
	介助者 100円	60歳以上の方	400円
場所	岐阜市鷺山向井2563-18		

# 施設部会から 研修のお知らせ

知的障害者の家族にとって、親の高齢化と本人の高齢化は大きな課題のひとつです。ひまわりの丘に、今年の4月、高齢者対応型施設「いこい」がオープンしました。

今までの施設はどういう課題があったのか。再整備計画の中で「いこい」はどういうプランですすめてきたのか。

「いこい」ができてよかったこと、課題として残ったこと、利用者や職員の生の声など、これからの方向性についてお聞きし、あわせて現場を見学しながら研修いたします。

## テーマ 「ひまわりの丘施設見学と高齢化問題の研修」

- ①講演「ひまわりの丘再整備プランでの高齢化の対応について」
- ②高齢化対応施設「いこい」の見学
- ③質疑応答

日 時 平成29年10月4日（水）午後1時30分～3時30分

場 所 ひまわりの丘学園（関市桐ヶ丘3丁目2）

申 込 施設部会役員を通して申し込んでください



いこい棟 玄関

## ヘルプマークを知っていますか？

岐阜県では「岐阜県障害のある人もない人も共に生きる清流の国づくり条例」の施行を踏まえ「人にやさしい岐阜県づくり」の一環としてヘルプマークを導入し、8月より配布を開始しました。

難病や内部障がい、妊娠初期の方など援助や配慮を必要としている方々が、バッグなどに身に付けることで周囲の人に手助けを必要とすることや「見えない障がい」への理解を求めるものです。

<配布場所>①各市町村障がい福祉担当課

- ②県事務所福祉課
- ③岐阜県庁障害福祉課

上記窓口にて、希望の方に無料で配布されます。家族や支援者等の代理人による受取も可能です。



ヘルプマーク啓発ポスター

障がいのあるご本人と、そのご家族のための総合保険です。

## ぜんちの あんしん保険

平成25年料率改定

少額短期健康総合保険（無告知型）2012年創設

- 病気・ケガの入院保障
- 個人賠償補償
- 被害事故の解決  
(弁護士費用)



特別支援教育を必要とされている方のために生まれました。

## ぜんちの こども傷害保険

権利保護補償付傷害保険（2015年創設）

- ◎ 個人賠償補償
- ◎ 被害事故の解決  
(弁護士費用)
- ◎ ケガの入通院保障



保障内容に関するご質問、お問い合わせ

○取扱代理店

有限会社ファースト・アクション

岐阜オフィス TEL 058-295-0360  
 美濃加茂オフィス TEL 0574-28-3160

○引受保険会社  
**ぜんち共済株式会社**  
証券取扱い業（少額短期保険）第14号  
 〒101-0032 東京都千代田区岩本町3丁目5番8号  
 都本館5階（少額短期保険）第14号  
<http://www.z-kyosai.com/>



# 津久井やまゆり園の事件から1年



## ～知ってほしい、子どものこと。親の気持ち～

津久井やまゆり園の事件から1年が経ちました。全国手をつなぐ育成会連合会の機関誌「手をつなぐ」7月号では、特集を組んで本人、家族の思いを掲載しています。その一部をご紹介します。

### 命の大切さをみんなに伝えたい

この春、地元の小学校に入学しました。高学年には、よだれをそっとふき取ってくれたり、車いすの目線まで姿勢を低くして挨拶してくれる子がたくさん。低学年は「なんでなんで」の質問攻め。「何もでけへんのになんで来たん？生まれてきてうれしい？」ときたときには、一瞬、時が止まりました。「何もできないようだけど、家族だけが知ってるたくさんのいいところをみんなに知ってほしいからなんだ。とっってもかわいくて大切に育てているんだよ」伝えたいことが伝えられた瞬間、涙が出そうでした。

もっとみんなに知ってもらいたい。大切な命に変わりはないということ。二度とあのような事件を起こさないために。

(香川・大伴 祐子)

…しかし、わたしたちは知っています。私たちの子どもが、決して「生かされている」だけの存在ではないことを。主体的な意思を持ち、懸命に生きようとする姿を。日常のふとした仕草や何気ないやりとりの奥に広がる独特で豊かな人間性を。

確かに多くの支援を必要とします。しかしそれは、誰かから許されて生きていることや、温情にすがって生きていることを意味するわけではありません。この世に生を受け（偶然にも私たちの子どものとして）、生きることへの強い意志を持つ一人の人間として、当然のように生きているだけです。…

全国手をつなぐ育成会会長 久保厚子



### 母もきっと喜んでくれたはず

2年前、母を亡くした悲しみの中で思ったのは「障がいのある息子も母の葬儀に参列させたい」。以前、周囲に理解されず葬儀に出るのを断念した人の話を聞いたことがあったからです。葬儀では息子の特徴などを親戚に話していきました。感心したり、ビックリしたりと、息子に興味を持っていたようでした。ただ、「そげんこと話さんでもよかたい！」という親戚も一人いました。嫌な一言でした。話さないとわからないことはたくさんあると思いますし、実際に本人を前にしないと話せないこともあります。

最重度の自閉症児で多動な息子に戸惑いながらも「この子が好きやけん」と卵焼きを作ってくれた母でした。一周忌も三回忌も参列でき、きっと母も喜んでくれたと思います。

(長野・野澤 由夏)



『手をつなぐ』をお読みください

年間購読料 3,900円

岐阜県手をつなぐ育成会へお申し込みください。

TEL 058-253-8062 FAX 058-254-9210

MAIL ikuseig@alpha.ocn.ne.jp

(件名に「手をつなぐ」申し込みとご記入ください)

※お名前・電話番号・送付先住所・冊数をお知らせください



この会報は赤い羽根共同募金の配分金によって発行されています。